

地域の資源を結集して、環境と調和 鶴岡市が地域エネルギービジョンを策定

鶴岡市の地域エネルギービジョンが5月策定されました。

めざす本市の将来の姿を「スマート・スマート・サステイナブル エネルギーネットワークシティ 鶴岡」としています。

スマートとは、本市の多様性を生かした小規模なエネルギー生産のネットワーク化

スマートとは、エネルギー需給のバランスを考慮した最適化
サステイナブルとは、将来に渡って持続可能なエネルギー供給体制

の構築を図ること、

めざす将来の姿は、「恵まれた自然環境を生かし、地域の資源を結集して、環境と調和し、地域に豊かさをもたらす、エネルギーの導入と利用が図られるまち」としました。

基本方針では、

最適なエネルギー

供給の実現

低炭素型土地利用

と社会基盤の形成を推進

産学官公民の多様な主体の参加と連携による取り組みの推進

を掲げ、

具体的には、

・森林バイオマスを活用したコジェネ（熱電併給）、ストーブ、ボイラーの利用推進

・農業用水路等を活用した小規模水力発電

・太陽光発電の普及促進、メガソーラー

・風力発電（陸上）、小型風力発電設備

・海洋エネルギーの実証実験事業の誘致

・地中熱、雪氷熱、太陽熱、温泉熱利用

・ごみ焼却施設におけるエネルギー利用

・BDF利用

・下水道におけるエネ

消防団藤島方面隊が春季消防訓練



鶴岡市消防団藤島方面隊（富樫正明方面隊長）の春季消防訓練が25日、藤島体育館駐車場でおこなわれました。梯子乗は昭和61年3月発足以来28年目で、今年度は幹部OBや団員の寄付により梯子の脚の更新がされました。



26日には小真木原陸上競技場で鶴岡市消防団の春季演習がおこなわれました。

ルギー利用

・再生可能エネルギー設備導入へ市の支援
・オイル産生藻の研究
・農産バイオマス等の研究

保育園児とペアで田植え交流

庄内農民連・産直センター、藤島で

われました。

よくおこなわれている数人で指導するものではなく、産直は消費者との交流が命という考えから、園児と農民が昼食も田植えもペアで行なうというユニークなものです。

庄内農民連と産直センターによる第16回生命の源にふれる旅・田植え交流会が18、19日開かれました。
横浜市苗場保育園・同緑園なえば保育園の園児（40人）・保護者・職員計80人がバスで来鶴、藤島の楽楽で手づくり昼食後、石川豊明（八色木）さんの田圃で田植え交流がおこな



・やまぐちれんさん
・小野寺裕さん
・わたべなるみさん
・佐藤一晴さん
・ほしのしずくさん
・菅原良弘さん
・にしむらりこさん
・本間薦さんと
いうように40ペアです。

フザケテ困らせている園児などおりましたが、ドン親しくなると園児は孫や子どものようになっています。

添川の農村環境改善センターで、始めは園児たちも参加し大人の夕食交流会が和やかにおこなわれました。

6月1日～3日は朝日地区でおこなわれます。



高橋甚治郎氏の高甚式農機具(3)

高橋甚治郎氏 『藤島町史下巻』農機具の発達項である。高橋甚治郎(明治20年(1887)~昭和49年(1974)・下町出身)と関わることを拾ってみます。

島野嘉作は明治24年来庄し同36年までの12年間乾田馬耕を指導し庄内稲作発展の貢献したことは周知のことです。高橋甚治郎氏も10代中頃から彼の指導を受け、犁・碎土機を主



高甚式碎土機

商人が持つてきた鬼馬鍬の絵図を見て、酒田市の大工・粕谷が製作しましたが、欠点があり一年後高橋氏らが改良し碎土効果を上げ盛んに利用されました。昭和8年頃から普及した手動衝撃

式の岩田式耒摺機は、高橋氏と鶴岡市の秋山好市が独占販売し、倉庫でもこの型式で耒摺したものに助成奨励

ました。これらの農機具は昭和30年代から40年代初めに動力耕運機が導入されるまで稲作を担ってきました。

自民党に対抗できるのは日本共産党しかない 参院選、自共対決

「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

6月都議選、7月参院選を直前にして、5月26日号しんぶん赤旗日曜版はその特集。一面トップは作家・あさのあつこさんが「総選挙で、政党がたくさん生まれまし。国民が新しい政党にめくらましされてしまうのが悔しかった。でも、半年たってみれば、結局、暮らしても、原発も、平和の問題も、自民党に

と共産しかない。あとは何んだかよく分からなくなっている。」とい、5月8日の共産党中央委員会総会での志位委員長報告「自共対決こそ、参院選の真の対決軸」を受けて、朝日は「再び参院選(自



なぜ、どこを変えたい

憲法をなぜ、どこを変えたいのか。なぜといえは国防軍を持ちアメリカと一緒に戦争できる国にするため。

▼どこを、勿論9条なんです。当面は96条なんです。96条には、憲法を変えるのは両院の3分の2以上で発議できる、とあるから。

▼彼等は3分の2以上ではハードルが高すぎるということから2分の1以上に変えたいのです。そしてネジレ国会を解消できれば思いのままということ。

▼しかし選挙は無効と判決が出た選挙区の議員が何人かいます。しかも40%程度の得票率で80%近い議席をカスマ取っているんです。

当然国民の声が正しく反映されておりません。こんな人たちに憲法改悪をまかせられませんか。勿論ノーです。

▼彼等はズルク、こ

鮮紅の半身を笹に桜ます

工藤 博司



(画・加藤貞雄)

「鱒」は春の季語で、本鱒・川鱒・紅鱒・姫鱒と並んで、桜鱒もそのひとつである。ここにあげたように種類は多いが、鱒と名付けられたものは全てサケ科の魚で、学名上は鱒という魚種は存在しないのだという。

溪流釣りでおなじみの「山女」は、桜鱒が陸封されたものである。

桜鱒が店頭に並ぶ頃は、いよいよ春との感じを抱かせるが、この魚が産卵のために海から川を遡る頃が一番美味しいことと結びついている。桜鱒を一本まま買う機会は少なく、たいていは半身か切身で、あの鮮やかな紅色は食欲をそそる。魚屋によっては、この「鮮紅」とも呼ぶべき切身を、青笹の上に盛付けて一段とその味わいをグレードアップしている。長い冬からの開放感を楽しめるまたとない魚といえよう。

共対決」宣言」日経は「共産委員長『参院選は自共対決』と書き、自民本部は「どの新聞も『自共対決』だ。これがこれからの政治の傾向になるのでは」と話す。

永田町取材40年の政治評論家浅川博忠さんは『自共対決』がクロースアップされるのは、憲法改正問題が争点に：論争の全面に出るのは自民党と共産党」だからですと言います。ぜひ共産党を躍進させてください。憲法と暮らしを守るために。

んところを十分計算の上で0増5減で押し切りたいわけヨ。これだつて世間では2倍の格差というもんですぜ。▼裁判では2倍でイイなんて言つてませんが、新たに裁判になつても決まるまでには十分時間があるとフンでいるんです。何かあれば「国民のため」と言うけれど、自分等の権益を守るためにはこんなズルイことをするんです。

▼それに加えて公約違反でしょ。自らTPP反対とした首相は、ズルズルと惑わしているでしょ。TPPに反対ならばと自民党に入れた人は多いと思いますヨ。決して戦争への道を開くために投票した人はいないです。

▼それでこうなんだから民主政治と言えますか。でも今のイキオイでは衆参同時選挙だつてアルカモヨ。こんな流れに妥協を許さず頑張っているのが日本共産党です。(石川)